

News letter vol.197

2014年8月26日：ニッケ 中部事務所

第59回 おりもの感謝祭 一宮「七夕まつり」に協賛しました

「おりもの感謝祭一宮七夕まつり」は、その飾り付けの絢爛豪華さから、仙台・平泉と並び日本三代七夕まつりの一つと称され、59回目を迎えた今年は連日猛暑の中、7月24日(木)から27日(日)までの4日間、一宮全市を挙げて盛大に開催されました。今年のテーマは「躍動に期待！新しい一宮」とし、目で見て、耳で聞いて、活気溢れる街の様子を肌で感じる「七夕まつり」でした。7月14日(月)にはミス七夕・ミス織物のキャラバン隊が七夕まつりのPR活動のため、ニッケ一宮事業所食堂を訪問され、従業員達一人一人に声をかけてPR景品を渡されました。

まつり期間中は伝統的な吹流し飾りはもちろん、子ども達に人気のアニメキャラクターなどが動くアーチ式仕掛け物飾りや豪華で色鮮やかな大型吊り下げなどが一宮周辺から商店街、真清田神社一帯を中心会場として、華やかに街を彩りました。

催事としてはiービル(駅ビル)のシビックテラスではコスプレステージ、ライブコンサート、ダンスなど、盛り沢山の内容でした。イベントとしては「コスプレパレード 3 RD WITH ぽぷかる」、踊りパレード「ワッショーいちのみや」、織物を奉納する行列を時代絵巻風に仕立てた「御衣奉獻大行列」、ミス七夕・ミス織物による「人力車七夕道中」、「盆踊り大会」、「太鼓演奏」などの催しが繰り広げられました。

一宮七夕まつりの由来。一宮市民の守り神として崇敬されている真清田神社の祭神「天火明命(あめのほあかりのみこと)」の母神「萬幡豊秋津師比売命(よろずはたとよあきつしひめのみこと)」は太古から織物の神様として知られ、そのご加護により当地方の織物が発達したと言われています。織物と縁の深い牽牛・織女にちなんだ、おりもの感謝祭として毎年開催されており、4日間で約120万人もの人出でにぎわいます。

中部事務所は「七夕まつり協賛」(プログラム広告、駅前看板広告、ミス七夕・ミス織物キャラバン隊事業所訪問)、「奉獻七夕協賛」(真清田神社境内奉獻看板)、「七夕オリジナルうちわ協賛」(うちわ裏面広告)を行い、地域行事への貢献活動を行いました。



[本件に関する問い合わせ先]

ニッケ 中部事務所

〒491-0053 愛知県一宮市今伊勢町本神戸字河原1

Tel 0586-73-9101



ニッケ グループ

う~るん